2019年
7月

県内景況・確報

◎概況　**県内景況は、拡大している**

●2019年７月 おきぎん「カトレア」景況図●

県内景況	個人消費	建設関連	観光関連	生産動向	企業倒産	雇用状況
良い	やや良い	良い	良い	ふつう	やや良い	良い

７月の県内景況は、**個人消費関連**では、スーパー売上高は、全店ベースは前年同月を上回りました。既存店ベースは下回りました。百貨店売上高は前年同月を下回りました。耐久消費財である家電卸出荷額は、前年同月を上回りました。新車販売台数は前年同月を下回りました。

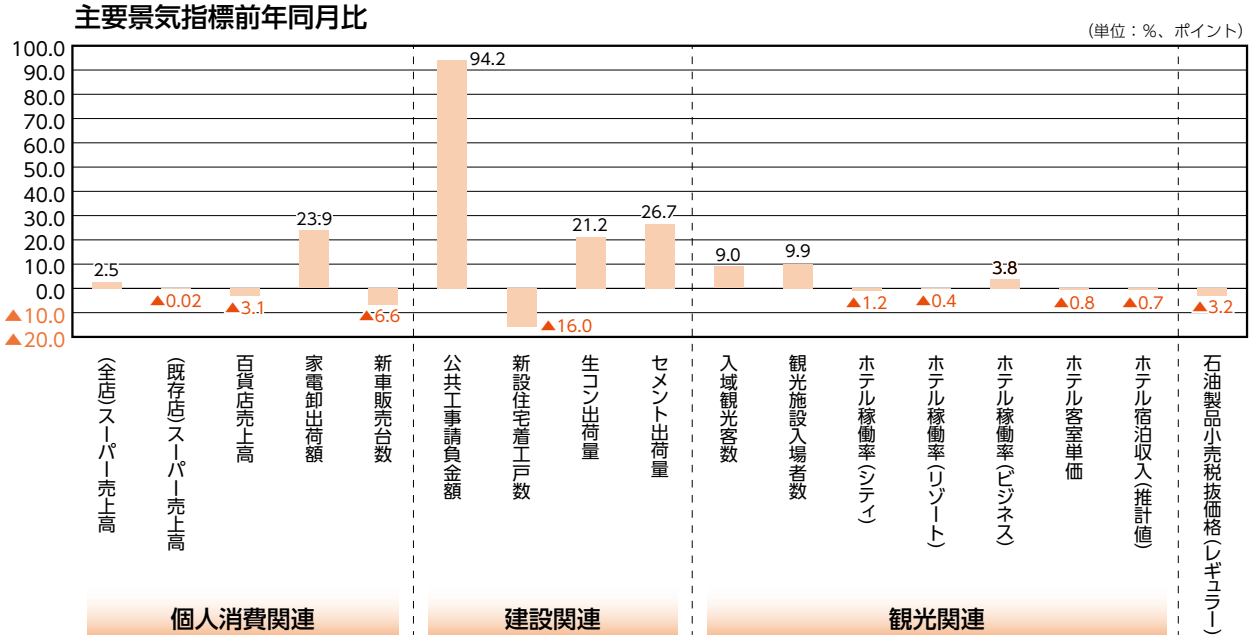
建設関連では、公共工事請負金額は、市町村や国などによる発注工事の増加などで前年同月を上回りました。新設住宅着工戸数は前年同月を下回り、建設資材である生コン、セメントはともに前年同月を上回りました。

観光関連では、入域観光客数は10ヵ月連続で前年同月を上回り、観光施設入場者数も前年同月を上回りました。ホテル稼働率はビジネスホテルが前年同月を上回り、シティホテル、リゾートホテルは下回りました。ホテル客室単価は前年同月を下回り、宿泊収入（推計値）も下回りました。

このような状況に鑑みて、個人消費や建設関連が概ね堅調であり、観光関連では堅調な動きが継続していることなどから**「県内景況は拡大している」**と景気判断を据え置きました。

（2014年２月の上方修正後から66ヵ月連続で判断維持）

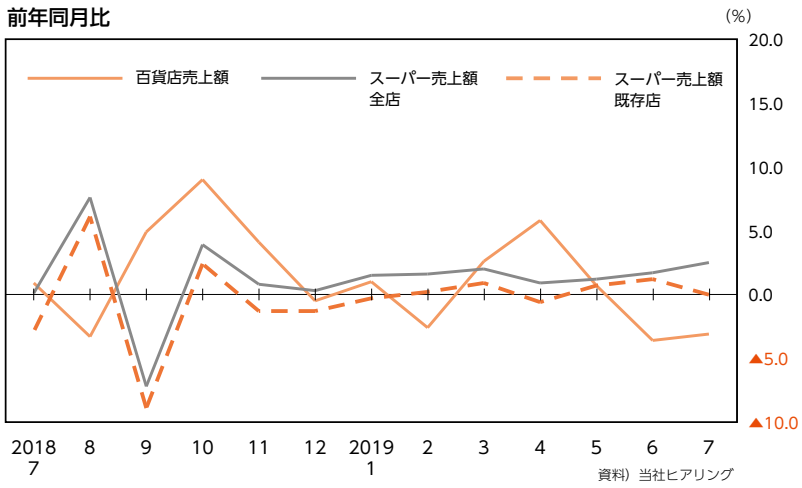
主要景気指標前年同月比



個人消費 （やや良い）

① スーパー・百貨店売上高…スーパー売上高は、全店ベースは前年同月を上回る。既存店ベースは下回る。百貨店売上高は前年同月を下回る。

７月の個人消費関連では、**スーパー売上高「全店ベース（前年同月比2.5％増）」**は、新規出店効果などにより、「食料品（同0.6％増）」、「家庭用品（同9.2％増）」、「衣料品（同3.6％増）」など、全般的に売上が伸び、10ヵ月連続で前年同月を上回りました。

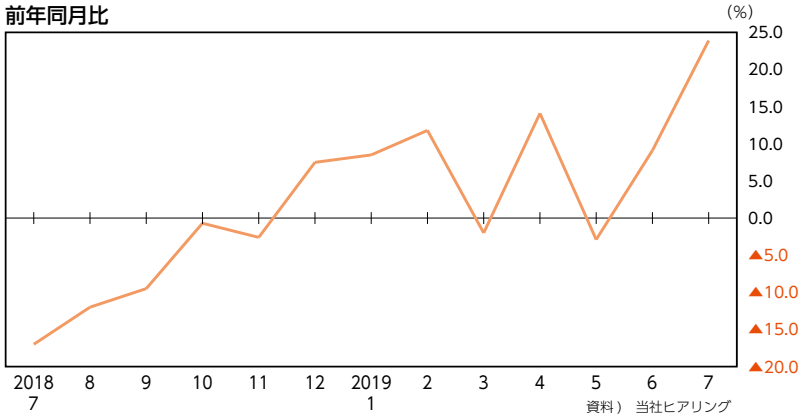


「既存店ベース（同0.02％減）」は、３ヵ月ぶりに前年同月を下回りました。品目別では、ウェイトの高い「食料品（同0.1％減）」は、惣菜等の簡便商品等は好調だったものの、全般的に売上が伸びず、前年同月を下回りました。また、「衣料品（同5.2％減）」は、夏物商材の売上が伸びず、前年同月を下回りました。「家庭用品（1.6％増）」は、エアコンなどの家電や、ドラッグ等の売上が伸び、前年同月を上回りました。

百貨店売上高は、衣料品、雑貨が低調だったことから、２ヵ月連続で前年同月を下回りました（同3.1％減）。内訳をみると、「食料品（同7.0％増）」は、前年に比べお中元商戦が早まったことなどから、前年同月を上回りました。一方、ウェイトの高い「衣料品（同5.4％減）」は、クリアランスセール等を行うも、「紳士服（同5.0％減）」、「婦人服（同7.5％減）」などの売上が伸びず、前年同月を下回りました。靴、バッグ等の「身のまわり品（同20.9％減）」は、前年に開催した催事企画を行わなかったことなどから、前年同月を下回りました。また、「雑貨（同5.0％減）」は、インバウンド需要の減少により、前年同月を下回りました。

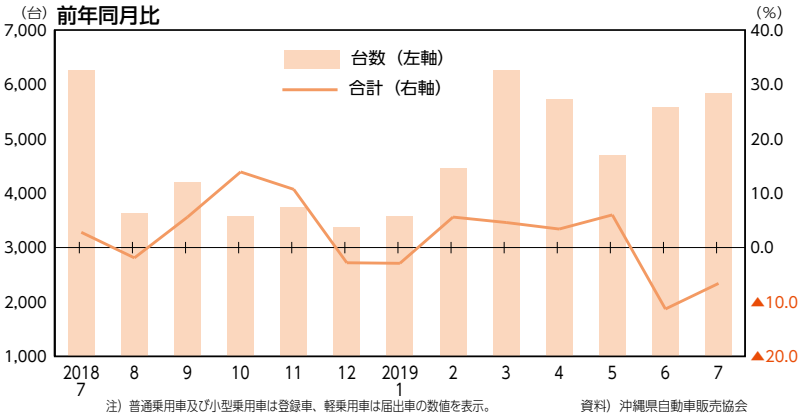
② 家電卸出荷額…家電卸出荷額は2ヵ月連続で前年同月を上回る。

家電卸出荷額は、白物家電などが伸び、２ヵ月連続で前年同月を上回りました（同23.9％増）。品目別では、「テレビ（同26.3％増）」は、高価格帯商品が伸び、前年同月を上回りました。また、「エアコン（同18.9％増）」は、 前年に比べ気温が高く推移した影響などにより、前年同月を上回りました。「冷蔵庫（同1.8％増）」、「洗濯機（同11.6％増）」は、買い替え需要が好調だったことから、前年同月を上回りました。



③ 新車販売台数…新車販売台数は、2ヵ月連続で前年同月を下回る。

新車販売台数は、全体で5,840台（同6.6％減）となり、２ヵ月連続で前年同月を下回りました。車種別では、「普通乗用車（同1.1％増）」、「軽乗用車（同6.1％増）」は、自家用車需要が好調だったことから前年同月を上回りました。一方、「小型乗用車（同25.0％減）」は、レンタカー需要が減少し、前年同月を下回りました。



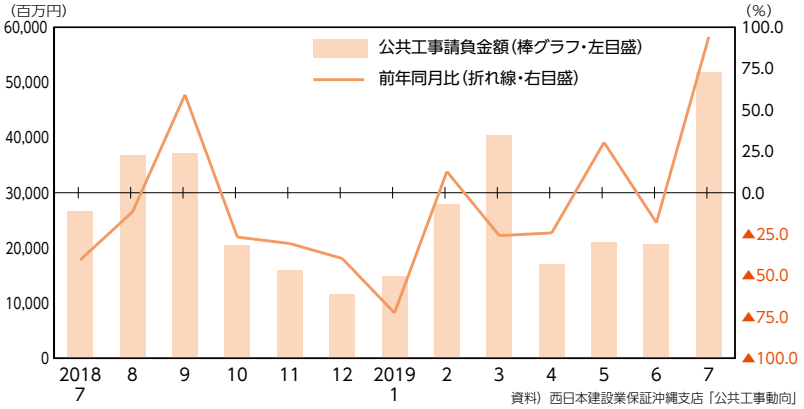
注）普通乗用車及び小型乗用車は登録車、軽乗用車は届出車の数値を表示。　資料）沖縄県自動車販売協会

※普通乗用車及び小型乗用車は登録ベース、軽乗用車は届出ベースの数値を合算。

建設関連 （良い）

① 公共工事…公共工事請負金額は前年同月を上回る。

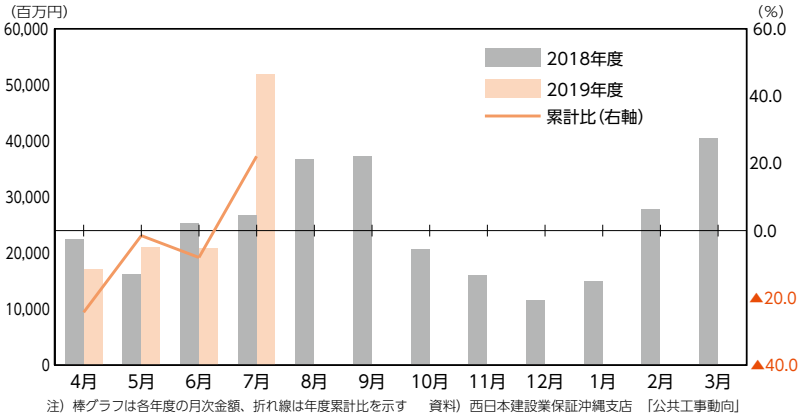
７月の公共工事請負金額は、前年同月比94.2％増の519億円となりました（２ヵ月ぶり増）。発注者別でみると、「市町村（同201.6％増）」のほか、「国（同83.8％増）」や「独立行政法人等（同2,162.9％増（約22.7倍））」、「その他の公共的団体（同11.8％増）」は前年同月を上回りました。一方で、「沖縄県（同32.6％減）」は前年同月を下回りました。



資料）西日本建設業保証沖縄支店「公共工事動向」

【参考】公共工事（年度累計）…公共工事請負金額は前年同期を上回る。

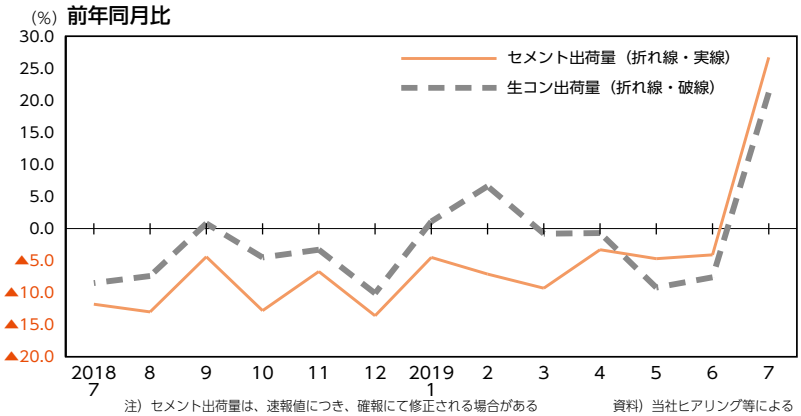
今年度累計値では、22.1％増となっています。



注）棒グラフは各年度の月次金額、折れ線は年度累計比を示す　資料）西日本建設業保証沖縄支店　「公共工事動向」

② 建設資材…生コン、セメントはともに前年同月を上回る。

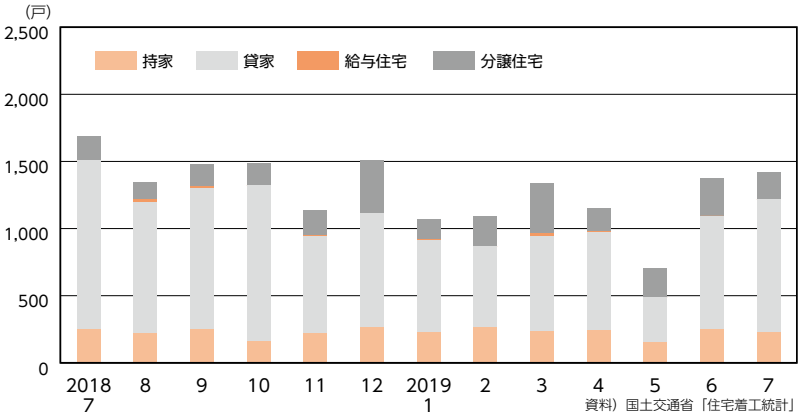
建設資材関連では、**生コン**の出荷量は21.2％増と５ヵ月ぶりに前年同月を上回りました。内訳では、公共工事向け出荷が前年同月より16.9％上回り、民間工事向け出荷は23.3％上回りました。**セメント**出荷量は26.7％増と13ヵ月ぶりに前年同月を上回りました。



注）セメント出荷量は、速報値につき、確報にて修正される場合がある　資料）当社ヒアリング等による

③ 住宅投資…着工戸数は前年同月を下回る。

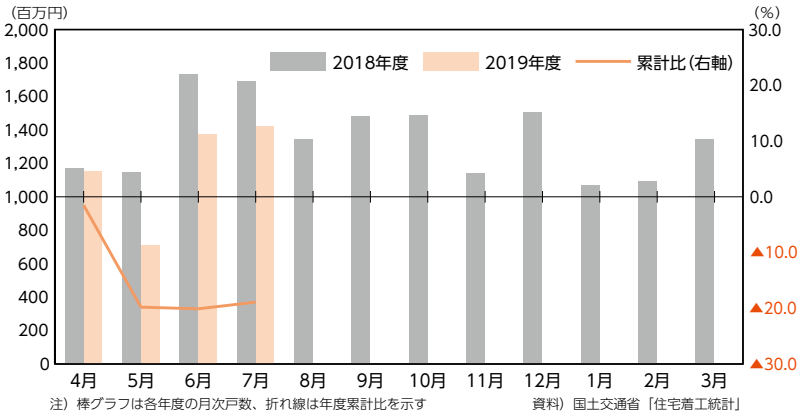
新設住宅着工戸数は、全体で前年同月比16.0％減の1,419戸と前年同月を下回りました。利用別戸数をみると、ウェイトの高い「貸家　（同20.9%減）」のほか、「持家（同9.2%減）」が前年同月を下回りました。一方で、「分譲住宅（同7.6％増）」は前年同月を上回りました。



資料）国土交通省「住宅着工統計」

【参考】住宅投資（年度累計）…着工戸数は前年同期を下回る。

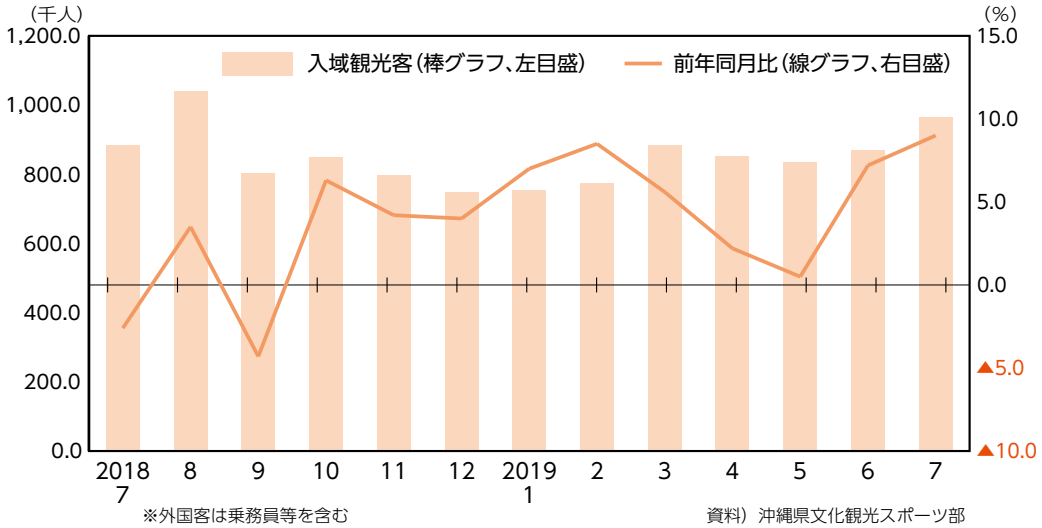
今年度累計値では、18.9％減となっています。



注）棒グラフは各年度の月次戸数、折れ線は年度累計比を示す　資料）国土交通省「住宅着工統計」

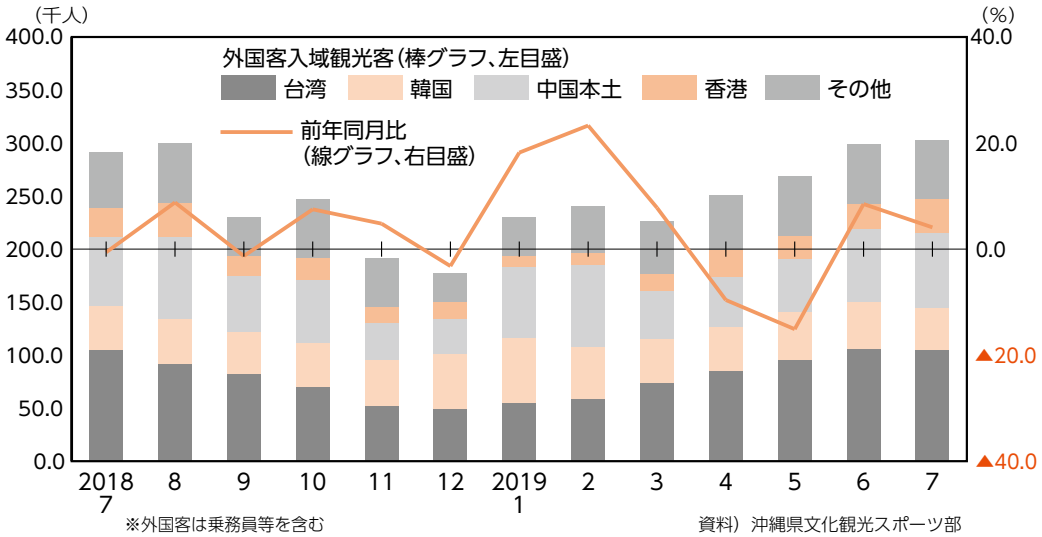
観光関連 （良い）

① 入域観光客数（国内客・外国客の合計）…10ヵ月連続で前年同月を上回る。



※外国客は乗務員等を含む　　資料）沖縄県文化観光スポーツ部

外国客 入域観光客数…２ヵ月連続で前年同月を上回る。



※外国客は乗務員等を含む　　資料）沖縄県文化観光スポーツ部

７月の入域観光客数は、79,500人多い963,600人（前年同月比9.0％増）となり、10ヵ月連続で前年同月を上回りました（７月としては過去最高）。

内訳をみると、「国内客（同11.4％増）」は660,800人と、航空路線の拡充（提供座席数増加、関西－下地島路線の新規就航等）があったことや、全国高等学校総合体育大会が開幕したこと等から、10ヵ月連続で前年同月を上回りました。

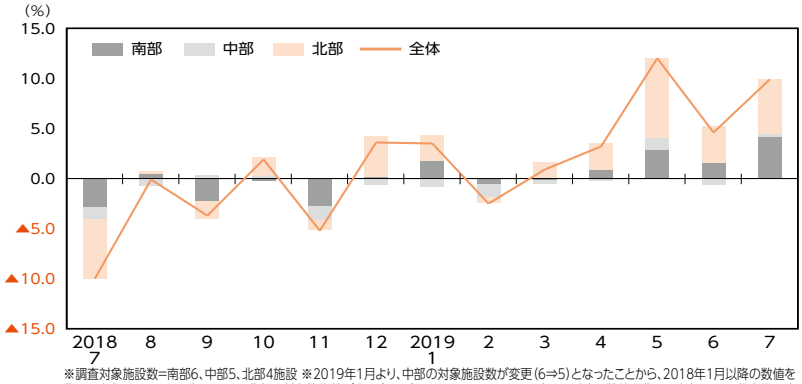
他方、「外国客（同4.1％増）」は、302,800人と２ヵ月連続で前年同月を上回りました。航空路線の拡充や、大型クルーズ船の寄港回数増加などにより、前年同月を上回りました。韓国については、日韓関係悪化による訪日旅行自粛の動きがあったことなどから、前年同月を下回りました。

「台湾（同0.2％減）」「韓国（同4.8％減）」「中国本土（同10.5％増）」「香港（同14.3％増）」

※乗務員等を除く2019年７月実績＝全体927,500人（同9.5％増）、外国客266,700人（同5.0％増）、国内客は変わらない。

② 観光施設入場者数…５ヵ月連続で前年同月を上回る。

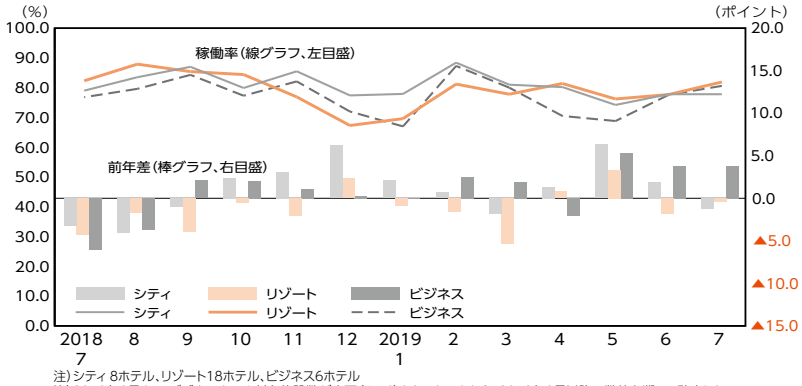
観光施設入場者数は、全体で前年同月より9.9％増加（５ヵ月連続）しました。地域別にみると、南部にある観光施設は同11.0％増と４ヵ月連続、中部は同2.8％増と２ヵ月ぶり、北部は同10.3％増と５ヵ月連続で前年同月を上回りました。



※調査対象施設数=南部6、中部5、北部4施設 ※2019年1月より、中部の対象施設数が変更（6⇒5）となったことから、2018年1月以降の数値を遡って改定した。※2019年3月より、北部の対象施設数が変更（5⇒4）となったことから、2018年3月以降の数値を遡って改定した。※公表後に改定する場合があり最新公表資料が確定値とする。注）棒グラフは各地域の寄与度を示している
資料）当社ヒアリング

③ ホテル稼働率…ビジネスホテルは前年同月を上回り、シティホテル、リゾートホテルは下回る。

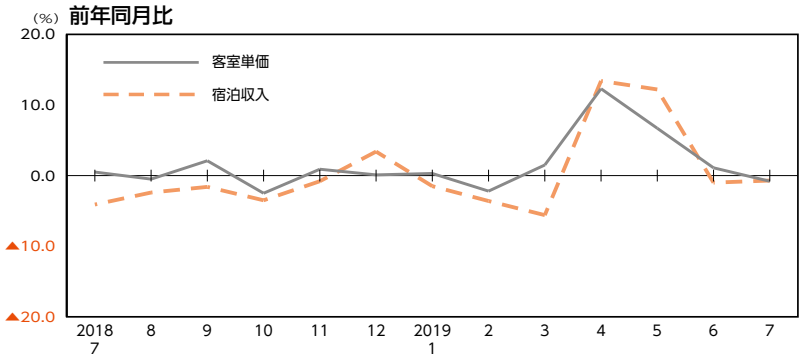
県内ホテル稼働率は、シティホテルが77.8％と1.2ポイント減少（4ヵ月ぶり）、リゾートホテルが81.9％と0.4ポイント減少（２ヵ月連続）、ビジネスホテルが80.6％と3.8ポイント上昇（３ヵ月連続）しました。



注）シティ8ホテル、リゾート18ホテル、ビジネス6ホテル
注）2019年3月より、ビジネスホテル対象施設数が変更（7⇒6）となったことから、2018年3月以降の数値を遡って改定した。
※公表後に改定する場合があり最新公表資料が確定値とする。
資料）当社ヒアリング

④ ホテル客室単価・宿泊収入…客室単価は前年同月を下回り、宿泊収入も下回る。

ホテル客室単価（シティ＆リゾート）は前年同月比0.8％減と前年同月を下回りました。**宿泊収入**も同0.7％減と前年同月を下回りました。

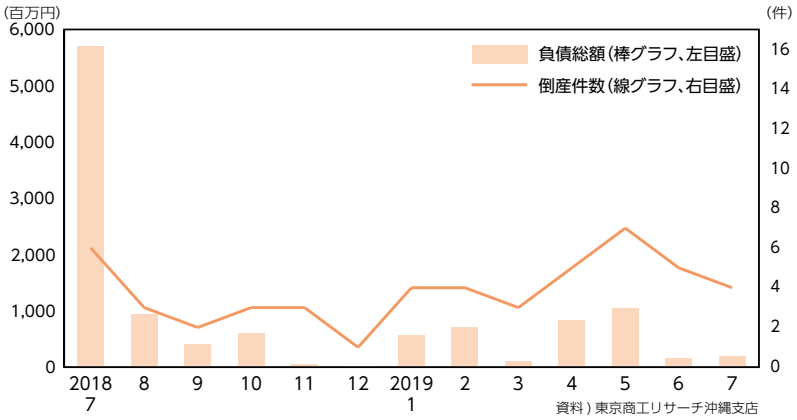


※対象施設数：26施設（シティ8、リゾート18）、ビジネスは除く
※客室単価は26施設の平均値、宿泊収入は各施設の推計値の総額（稼働率及び客室単価より当社推計）
※公表後に改定する場合があり最新公表資料が確定値とする。
資料）当社ヒアリング

企業倒産 （やや良い）

企業倒産…件数、負債総額はともに前年同月を下回る。

７月の企業倒産件数は、４件（うち大口倒産は１件）となり、前年同月より33.3％下回りました。負債総額は１億9,000万円となり、前年同月より96.7％下回りました。

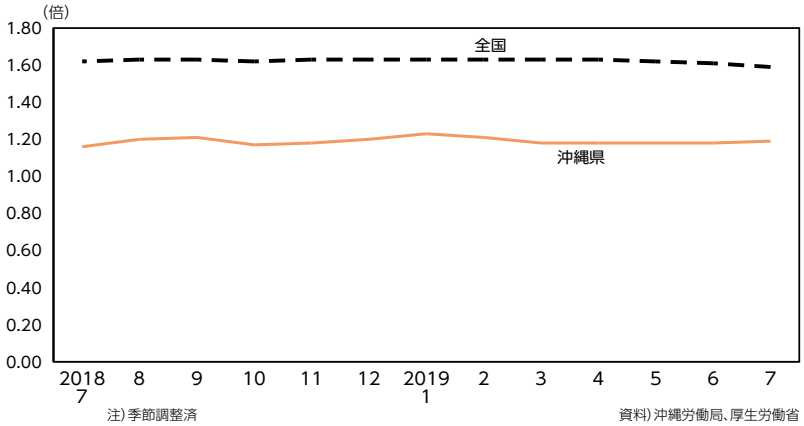


資料）東京商工リサーチ沖縄支店

雇用関連 （良い）

有効求人倍率…沖縄は前月より上昇、全国は低下。

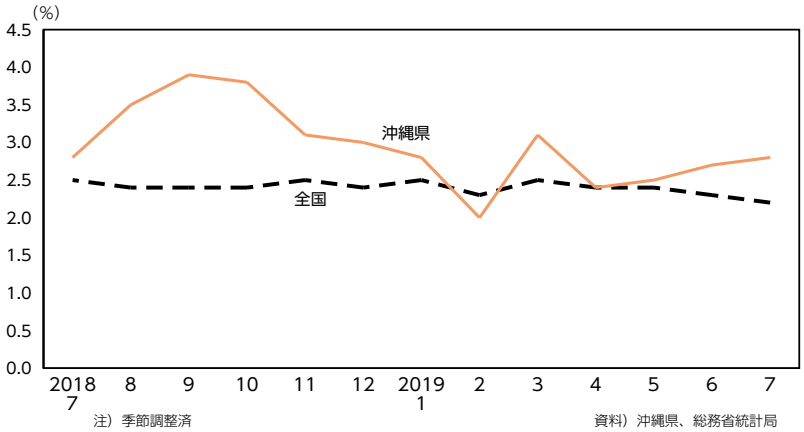
７月の雇用状況は、月間有効求人数（季節調整値）は前月比0.3％減の30,497人に対して、月間有効求職者数（同上）は前月比0.6％減の25,692人となり、有効求人倍率（季節調整値）は1.19倍となり前月より0.01ポイント上昇しました。



注）季節調整済
資料）沖縄労働局、厚生労働省

完全失業率…沖縄は前月より上昇、全国は低下。

７月の完全失業率（季節調整値）は、2.8％となり前月より0.1ポイント上昇しました。



注）季節調整済
資料）沖縄県、総務省統計局